

～旧約聖書を読んで感じること～ (75) レハブアム

ソロモンが課した税、賦役は民には過酷であり、様々な不満が国中にくすぶっていました。ソロモンは生存中、対立する勢力を抑えてきましたが、ソロモンが死んだという知らせは、不満を持つ者には抵抗、蜂起のチャンスとなりました。ソロモンを継承したのは、「若すぎて気も弱く」(歴下13:7)と評される息子のレハブアムでした。シケムで即位の儀式が行われることになって、レハブアムはシケムに行きましたが、そこで待っていたのは思いがけない状況でした。イスラエルの長老たちはヤロブアムをもそこに招いていて、彼にレハブアムと対決させました。ヤロブアムは申し出ました。

「あなたの父上はわたしたちに苛酷な鞭を負わせました。今、あなたの父上がわたしたちに課した苛酷な労働、重い鞭を軽くしてください。そうすれば、わたしたちはあなたにお仕えいたします。」(列上 12:4)

レハブアムは戸惑い、3日の猶予をもらい、ソロモンの家臣に相談します。彼らは答えました。

「もしあなたが今日この民の僕となり、彼らに仕えてその求めに応じ、優しい言葉をかけるなら、彼らはいつまでもあなたに仕えるはずです。」(列上 12:7) 王とは民の僕となることなのかとレハブアムは驚き

ます。レハブアムは不満を感じ、自分と共に育ち、自分に仕える若者に相談します。彼らはこう言うようにと勧めます。

わたしの小指は父の腰より太い。父がお前たちに重い鞭を負わせたのだから、わたしは更にそれを重くする。父がお前たちを鞭で懲らしめたのだから、わたしはさそりで懲らしめる。(列上 12:11)

3日後、再びシケムに集合し、レハブアムはこの言葉を民の長老たちに伝えました。ソロモンは知恵を求めたのに、教育は忘れたのです。教育とは小さい弱い者を守り育てることです。息子のレハブアムを傲慢な慈愛のない人間に育ててしま

いました。レハブアムはその上、父を超えたい野心もあったようです。人々はレハブアムが耳を貸さないのを見て、驚くべきことを決め、すぐに行動に移したのです。イスラエルの民は言いました。

「ダビデの家に我々の受け継ぐ分が少しでもあろうか。エッサイの子と共にする嗣業はない。イスラエルよ、自分の天幕に帰れ。ダビデよ、今後自分の家のことは自分で見るがよい。」(列上 12:16)

イスラエルの民は、ダビデ王家を継ぐ者としてレハブアムを残し、それ以外はそれぞれの部族として独立すると返答しました。ソロモン亡き後に、ソロモンの築いた王国は分裂してしまうのです。それはアヒヤのヤロブアムへの預言の実現となりました。この時から、イスラエルという言葉はダビデ王家と対立する民を示す言葉になりました。ソロモンの中央集権は瓦解し、地方分権へと切り替わったのです。けれども対立が始まった以上、力を集結する必要があり、イスラエルの民はヤロブアムを共同体に招き、イスラエルの王として立てました。

レハブアムはエルサレムに帰り、ユダ、ベニヤミン族から選り抜きの戦士 18 万人を招集し、イスラエルに戦いを挑もうとしました。その時、「あなたたちの兄弟イスラエルの人々に戦いを挑むな。こうなるように計らったのは主だ」という神の言葉が預言者シェマヤに与えられました。レハブアム達はそれに従いました。レハブアムはエルサレムに留まり、砦の町々を建て、守りを強固にしました。また、ヤロブアムによってイスラエル領土から追放された祭司、レビ人、信仰を持つ者たちたちがエルサレムに戻って来て、レハブアムを支えました。けれども彼らの信仰も長くは続きませんでした。

今度はエジプト王シシャクから攻撃を受けました。神に従わなかったことの裁きとして、神の人シェマヤの「エジプトに抵抗せず、へりくだれ」との言葉を受け入れ、神殿、王宮の宝物を差し出すことで、滅ぼされるのを免れました。レハブアムは 41 歳で王となり、17 年間エルサレムで王位にあったと記されています。享年 58 歳。



レハブアム Hans Holbein